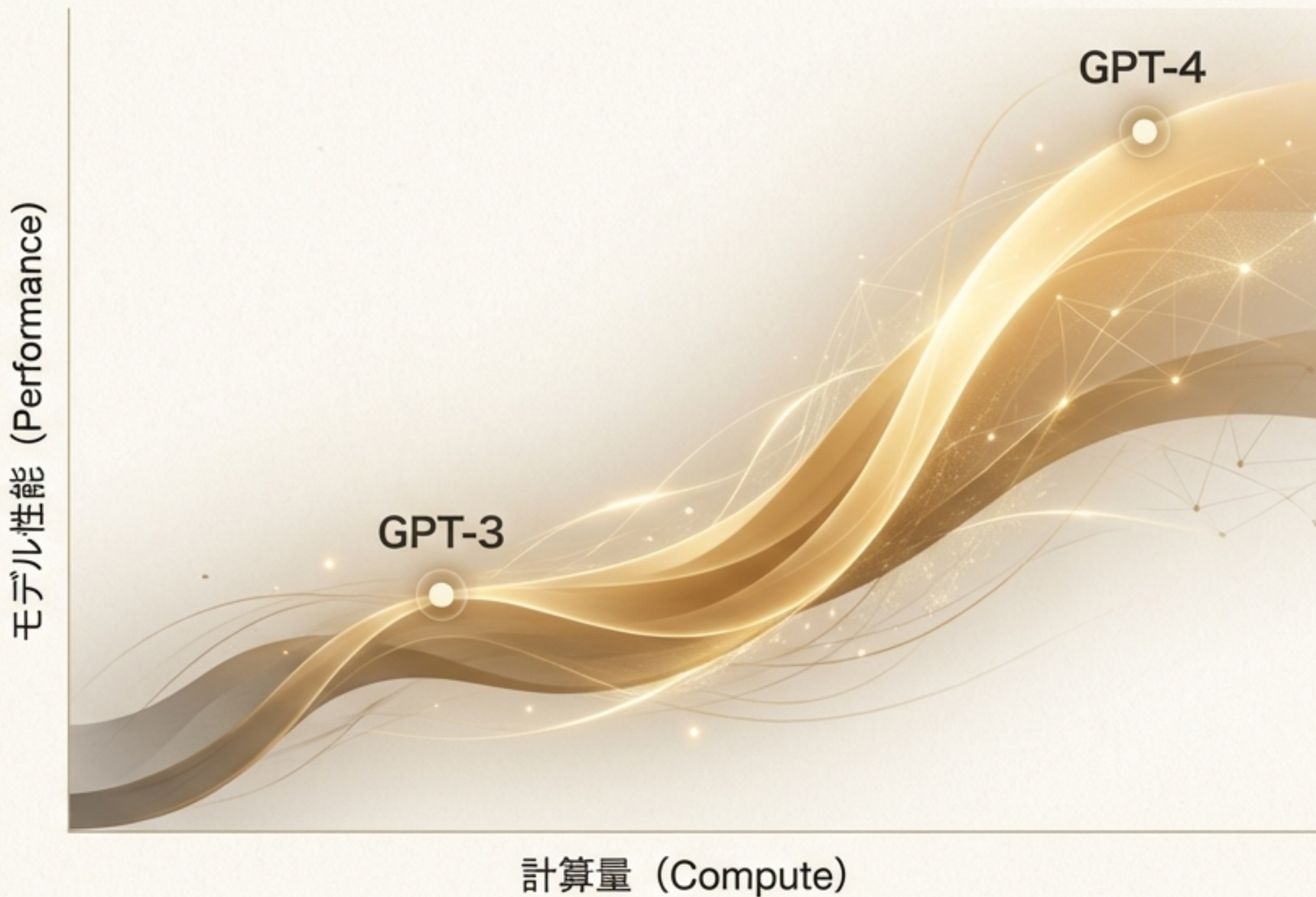


ROUGH VIBES: AIの絶対王者、 その終わりの始まり



分析：市場の支配と構造的脆弱性

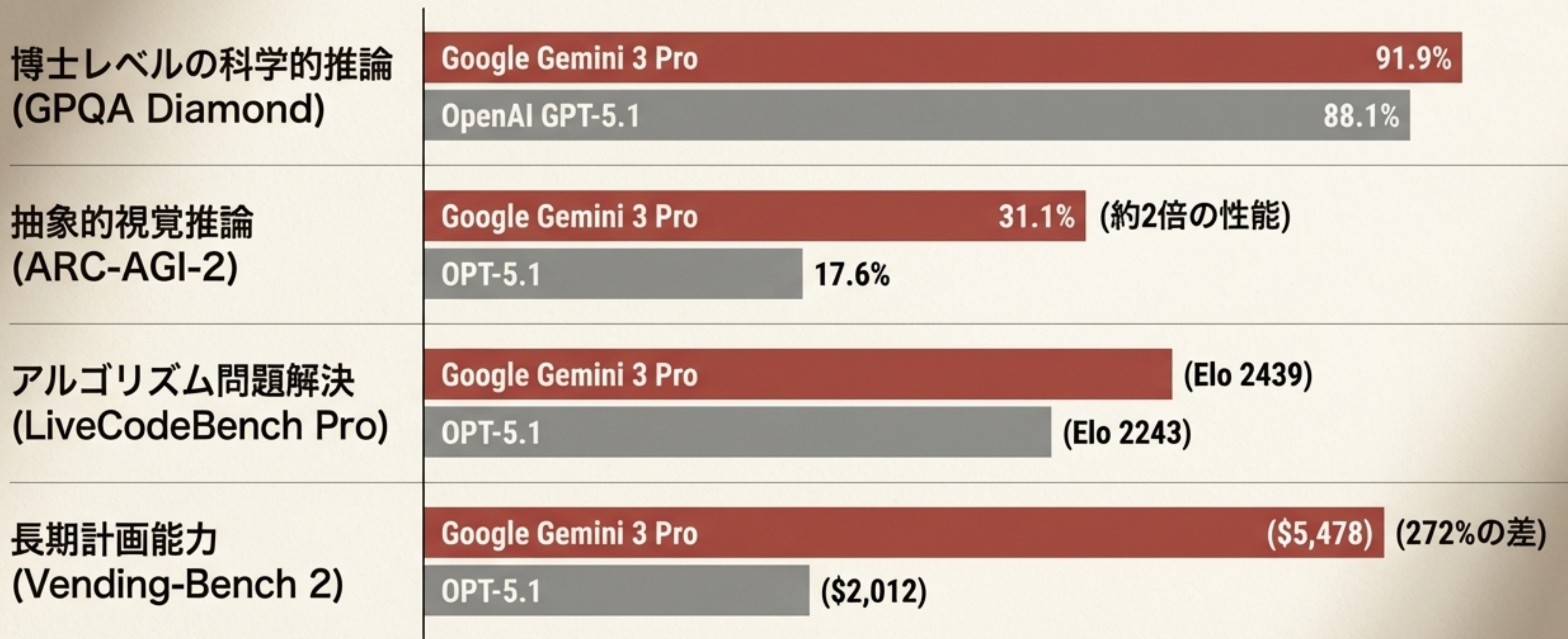
我々が知っていた世界：スケーリング則が支配した時代



計算量、データ量、
パラメータ数を増やすことで
性能は予測可能に向上する

AI開発のルールそのものであり、
業界の『不敗神話』であった

衝撃：Google Gemini 3が全てのベンチマークを塗り替えた



これは追撃ではない。技術的パラダイムシフトの始まりである

激震：CEO自身の言葉が認めた「三重の危機」

"rough vibes for a while"

当分は雰囲気良くないだろう

"temporary economic headwinds"

一時的な経済的逆風

"Google has been doing excellent work recently in every aspect"

Googleは最近、あらゆる面で立派な成果を出している

技術的劣勢、組織の士気低下、財務的脆弱性。三重の危機を公式に認めた瞬間であった。

なぜ敗北は起きたのか？：スケーリング則を巡る戦略的誤算

OpenAIの道

判断：「事前学習は
限界に達した」

戦略：推論時計算を重視する「推論
モデル (oシリーズ)」へシフト。GPT-5
の事前学習予算を大幅削減。



結果：根本的な性能の
脆弱性を抱える。

スケーリング則の限界

Googleの道

判断：「事前学習にはまだ
大きな可能性がある」

戦略：事前学習への再投資と
アプローチの洗練。



結果：Gemini 3で基礎能力が
大幅に向上し、OpenAIを凌駕。

OpenAIは、自らが機能しなくなったと判断した方法論に、競合がまだ大きな潜在力ある力があることを証明されるという戦略的敗北を喫した

起死回生策：プロジェクト「シャロットピート」



痩せた泥炭
(Peat)

コードネームの意味:
「“エシャロットは泥炭では育ちにくい”」
— 既存モデルの基盤（土壌）に、
表面的最適化では解決できない
構造的弱点があることの自己認識



改良された土壌
(Improved Soil)

守り (Defense)

GPT-5開発で露呈した「事前学習の欠陥」を
根本的に修正し、モデル基盤を再構築する。

攻め (Offense)

AI研究そのものを自動化する「非常に野心的な
賭け」により、開発サイクルを劇的に短縮し、
競争のルールを変える。

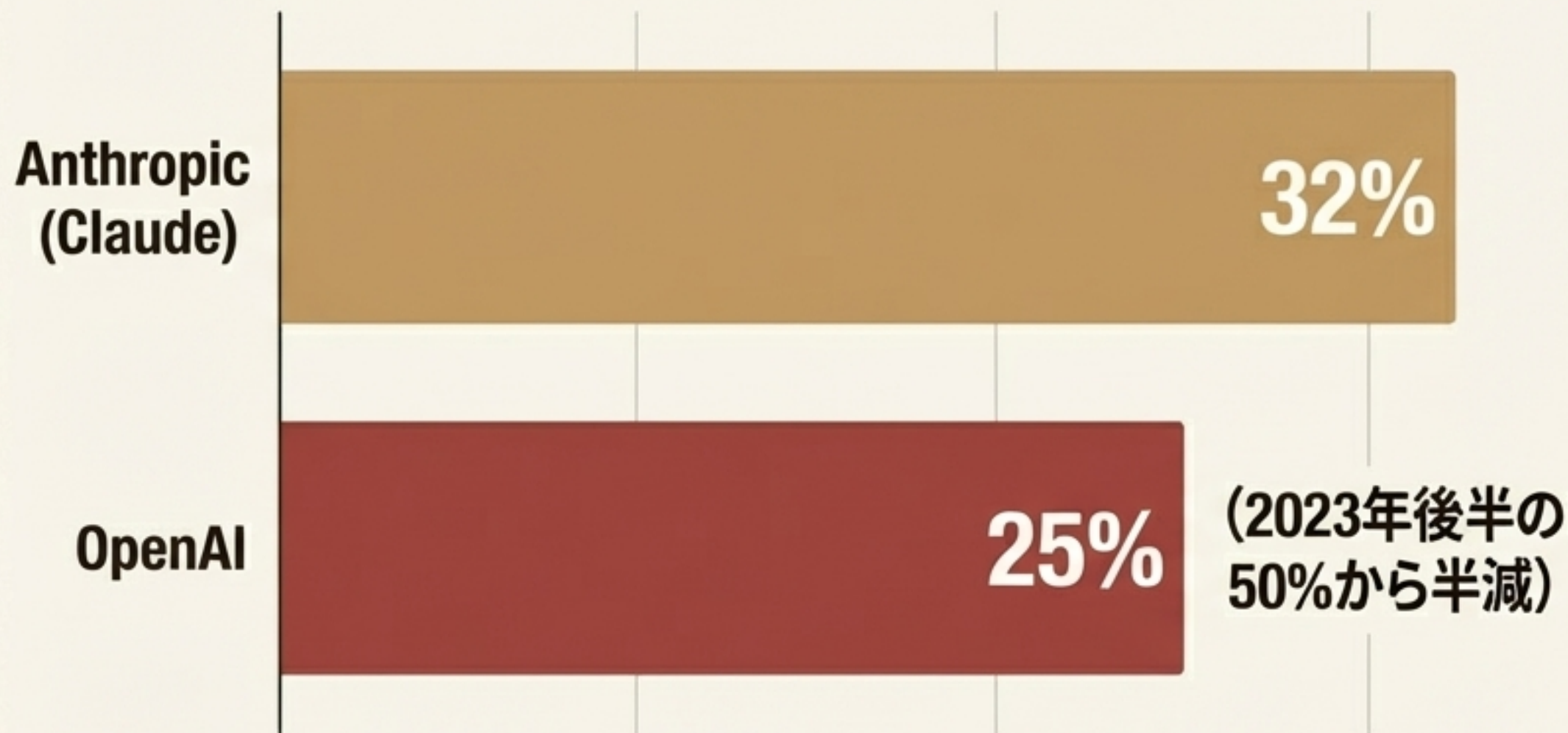
競合の構造的優位① - Google：帝国の逆襲



これはモデル性能の競争ではない。ハード、データ、流通を垂直統合したエコシステム全体の戦いである

競合の構造的優位② - Anthropic：エンタープライズ市場の掌握

企業向けLLM API市場シェア（2025年中頃）



- 戦略：セキュリティと信頼性を重視し、金融・ヘルスケア市場を開拓。
- 技術：コーディング市場シェア42%を占めるなど、特定分野で優位性を確立。
- 財務：より持続可能なキャッシュバーン率。

消費者市場ではChatGPTが優位だが、収益性の高いエンタープライズ市場ではリーダーの座を明け渡した

評価額5000億ドルの重圧

年間コスト：約80億ドル

キャッシュバーン率：約70%
(収益1ドルに対し1.69ドルを支出)

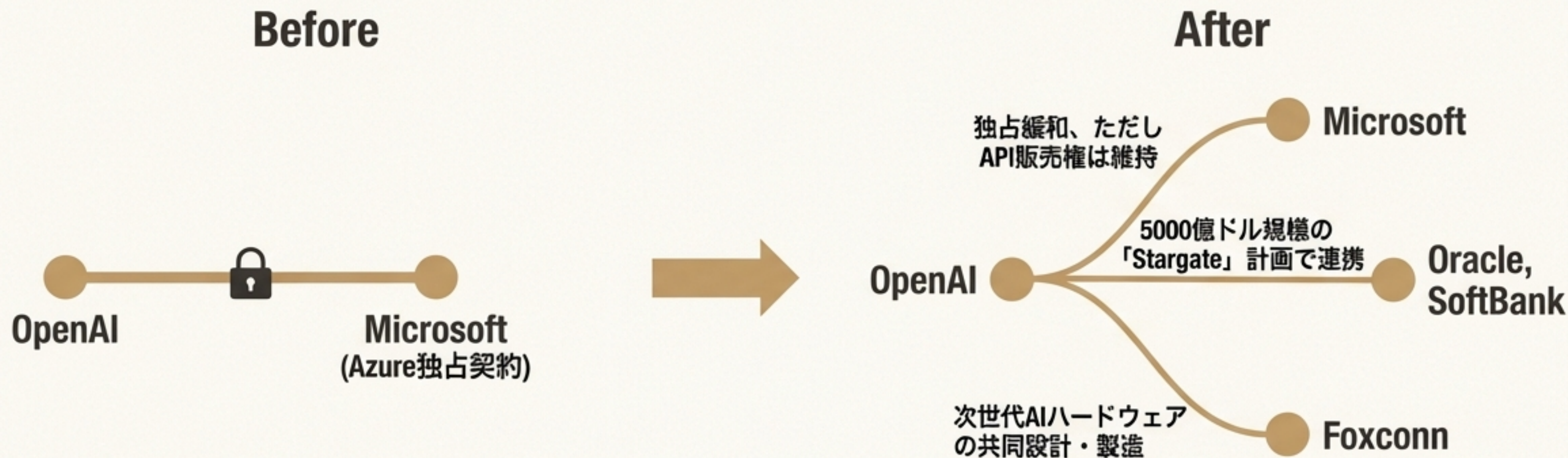


年間損失 (2024 Loss) :
50億ドル

予測：2028年までに累積赤字
が740億ドルに達する可能性

技術的リーダーシップという前提が揺らいだ今、この構造は維持可能か？

生き残りをかけた再編：パートナーシップの多角化



戦略的意図

- 🏢 インフラ確保: Microsoftだけでは追いつかない爆発的な計算需要に対応。
- 🛡️ リスク分散: 特定のパートナーへの依存度を下げ、交渉力を確保。
- 💰 資金調達: 巨額のインフラ投資を支えるための新たな資金源を模索。

専門家の視点：一時的停滞か、構造的危機か



一時的停滞説 (Temporary Setback)

巨大なユーザー基盤
(週間アクティブユーザー8億人)

圧倒的なブランド認知度
(依然としてAIの代名詞)

「シャロットピート」による
巻き返しの可能性

アルトマンCEO自身の
「追いつきつつある」という発言

構造的危機説 (Structural Crisis)



スケーリング則という
中核戦略の破綻

持続不可能なビジネスモデル
(巨額の赤字とキャッシュバーン)

「AIバブル崩壊」のリスク
(評価額と実態の乖離)

競合の構造的優位性
(Googleのエコシステム)

結論：岐路に立つAIの巨人



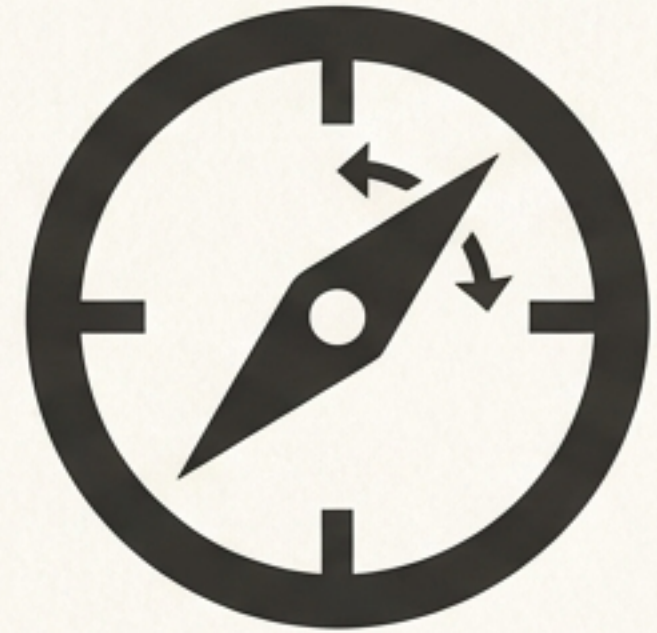
① 技術的挑戦 (The Technical Challenge)

スケーリング則の限界と事前学習の失敗。失われた技術的優位性を「シャロートピート」で再確立できるか。



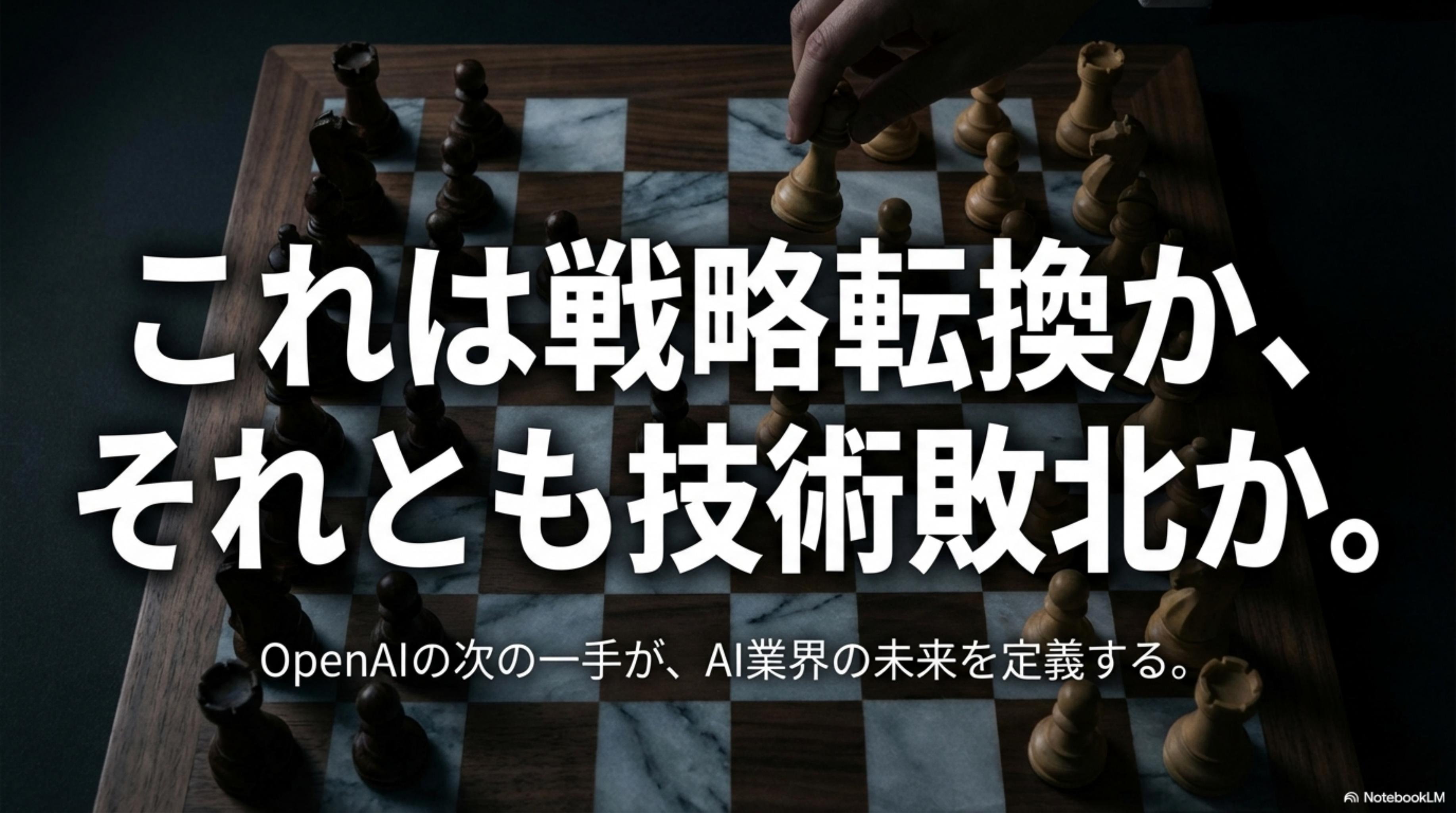
② 経済的脆弱性 (The Economic Vulnerability)

巨額の赤字と投資に依存したビジネスモデル。技術的優位なしに5000億ドルの評価額を維持できるか。



③ 戦略的転換 (The Strategic Pivot)

独走状態から、多極化した市場の追撃者へ。新たな競争秩序の中で、生き残るための道筋を描けるか。

A close-up photograph of a hand moving a light-colored chess piece (a king) on a wooden chessboard. The board has a blue and white checkered pattern. The lighting is dramatic, with the hand and the piece being the main focus, while the rest of the board and pieces are in shadow.

これは戦略転換か、 それとも技術敗北か。

OpenAIの次の一手が、AI業界の未来を定義する。